



グローバル補助金 モニタリングと評価の計画について

人道的プロジェクトや職業研修チーム(VTT)のためにグローバル補助金を申請する地区やクラブは、オンライン申請時に、重点分野を記載するセクションで、モニタリングと評価の方法についても記入する必要があります。本資料では、モニタリングと評価に関し、ロータリー財団が定めた重点分野の評価基準、用語、定義、測定方法を説明しています。以下の評価基準は、全世界のロータリアンの活動と成果を記録し、ほかの非営利団体と同じ定義の下に活動成果を紹介するためのものです。

モニタリングと評価の計画を立てるためのステップ

1. 明確なプロジェクト目標を立てる。
2. ロータリー財団の評価基準の中から該当するものを選択する。
3. プロジェクトに適した評価基準を独自に設ける。*
4. 基本データを定め、データの収集方法を定める。
5. オンラインで補助金を申請する際に、モニタリングと評価の計画を併せて提出する。
6. プロジェクトの実施中とモニタリングの過程で、データを収集する。**
7. データを評価して、その結果をオンラインで報告する。報告書には実際の成果を含める。

*プロジェクトの目標に明らかに関連する評価基準、プロジェクトが受益者の生活／知識／健康に与えた成果を実証するのにふさわしい評価基準のみを選ぶようにします。

**データ収集の際には、重複計算にご注意ください。プロジェクトの恩恵を受ける(または受けた)人の数を報告する際は、特定の地域社会または地域の人口のみを報告するのは避けてください。

留意事項:以下のページに記載された「評価基準」で**太字**となっている用語は、最終ページに詳しい説明があります。

「基本的教育と識字率向上」の評価基準

ロータリー財団は、すべての子どものための教育を改善し、子どもと成人の識字率を高めるための活動と研修を支援します。

1. 基本的教育と識字能力をすべての人々に与える地域社会の力を高めるプログラムを支援し、地域社会の参加を促進
2. 地域社会における成人の識字率の向上
3. 教育における男女格差を減らすための活動
4. 基本的教育と識字率向上に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援

評価基準	測定方法
直接受益者の数	補助金の記録と報告書 直接観察
恩恵を受けた就学年齢の子供の数	直接観察公文書 補助金の記録と報告書
新しい就学年齢の子供の数	公文書 補助金の記録と報告書
新しい就学年齢の女子児童の数	公文書 補助金の記録と報告書
成人教育に関する研修を受けた教員の数	直接観察 補助金の記録と報告書
識字研修を受けた成人の数	直接観察 補助金の記録と報告書
プログラムに参加している機関の数	補助金の記録と報告書
新たに習得した識字能力を使用している成人の数	フォーカスグループ(座談会)／ 個人面談 アンケート調査
新しく創出された教員職の数	公文書 補助金の記録と報告書

「疾病予防と治療」の評価基準

ロータリー財団は、疾病の原因と影響を減らすための活動と研修を支援します。

1. 地元の医療従事者の能力向上
2. 伝染病の伝播を食い止め、非伝染病の発生とそれによる合併症を減らすための、疾病予防プログラムの推進
3. 地域社会の医療インフラの改善
4. 主な疾病の蔓延を防止するための、地域社会の人々の教育と動員
5. 疾病またはけがによって引き起こされる身体障害の予防
6. 疾病予防と治療に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援

評価基準	測定方法
直接受益者の数	補助金の記録と報告書 直接観察
研修を受けた医療・保健従事者の数	補助金の記録と報告書 直接観察 公文書
医療サービスの質が向上したと報告している人の数	アンケート調査
疾病予防・治療を受けた人の数	補助金の記録と報告書 直接観察 アンケート調査
対象とする病気の発症数減少を報告したコミュニティの数	補助金の記録と報告書 直接観察 公文書
恩恵を受けた医療機関の数	補助金の記録と報告書 公文書
地元の医療機関を利用しやすくなったと報告しているコミュニティ	補助金の記録と報告書 アンケート調査
保健に焦点を当てた行事の数	補助金の記録と報告書 直接観察
保健教育キャンペーンの数	補助金の記録と報告書

「経済と地域社会の発展」の評価基準

ロータリー財団は、人々が生活と地域社会の経済に、末長い発展をもたらしていけるよう支援します。

1. 貧しい地域社会の経済発展を促すための、起業家、地域社会のリーダー、地元団体、地域社会ネットワークの能力の向上
2. 生産性の高い仕事の機会の創出
3. 支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減
4. 経済と地域社会の発展に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援

評価基準	測定方法
直接受益者の数	補助金の記録と 報告書直接観察
支援を受けた 起業家 の数	補助金の記録と報告書 直接観察
支援を受けた 事業 の数	補助金の記録と報告書 直接観察
研修を受けた人の数	補助金の記録と報告書 直接観察
創出された仕事 の数	雇用者に対するアンケート調査
収入を得るため雇用された 青少年 の数	補助金の記録と報告書 直接観察 アンケート調査

「母子の健康」の評価基準

ロータリー財団は、母子の健康を改善し、5歳未満の幼児の死亡率を減らすための活動と研修を支援します。

1. 5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減
2. 妊婦の死亡率と罹患率の削減
3. より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、地域社会の医療／保健関係のリーダーと医療提供者を対象とした母子の健康に関する研修
4. 母子の健康に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金の支援

評価基準	測定方法
直接受益者の数	補助金の記録と報告書 直接観察
治療を受けた5歳未満の子供の数	補助金の記録と報告書 直接観察 公文書
妊娠中のケアを受けた母親の数	補助金の記録と報告書 直接観察 公文書 アンケート調査
研修を受け、母子の健康を専門とする医療従事者の数	補助金の記録と報告書 直接観察
5歳未満の子供の死亡率減少を報告したコミュニティの数	公文書 アンケート調査
5歳未満の子供の罹患率減少を報告したコミュニティの数	公文書
妊産婦の死亡率減少を報告したコミュニティの数	補助金の記録と報告書 公文書
妊産婦の罹患率減少を報告したコミュニティの数	公文書 アンケート調査
恩恵を受けた医療機関の数	補助金の記録と報告書 直接観察

「平和と紛争予防／紛争解決」の評価基準

ロータリー財団は、平和と紛争予防／紛争解決のための研修、教育、実践を支援します。

1. 紛争予防と仲裁に関する、リーダー(リーダーとして囑望される若者を含む)の研修
2. 紛争地域における平和構築の支援
3. 平和と紛争予防／紛争解決に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援

評価基準	測定方法
直接受益者の数	補助金の記録と報告書 直接観察
平和構築活動に参加しているグループ／団体の数	補助金の記録と報告書 直接観察 アンケート調査
紛争の減少を報告したコミュニティの数	フォーカスグループ(座談会)／ 個人面談 アンケート調査
研修を受けた人の数	補助金の記録と報告書 直接観察
調停された紛争の数	フォーカスグループ(座談会)／ 個人面談 アンケート調査

「水と衛生」の評価基準

ロータリー財団は、安全な飲み水と基本的な衛生設備を提供するための活動と研修を支援します。

1. 地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善。
2. 持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域社会が自ら行っていくための能力向上。
3. 安全な水と衛生の重要性について、地域社会の人々の認識を高めるためのプログラム支援。
4. 水と衛生に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援

評価基準	測定方法
直接受益者の数	補助金の記録と報告書 直接観察
改善された飲料水源を使えるようになった人の数	直接観察 補助金の記録と報告書 アンケート調査 公文書
改善された衛生施設を使えるようになった人の数	直接観察 補助金の記録と報告書 アンケート調査 公文書
家庭ごとの浄水システムを通じて消毒処理された水を利用できるようになった人の数	直接観察 補助金の記録と報告書 アンケート調査 検査
研修を受けた人の数	直接観察 補助金の記録と報告書
管理監督を担う委員会を設けているコミュニティの数	直接観察 アンケート調査 補助金の記録と報告書
使用料を集めて管理維持を行っているコミュニティの数	直接観察 アンケート調査 補助金の記録と報告書

データ収集の方法

方法	定義	利点
直接観察	現地視察中に、活動を直接観察して集められる情報	直接奉仕に有効(研修指導や患者の治療など)
フォーカスグループ(座談会)／個人面談	受益者との詳しい話し合い。個人との場合は面談、複数の人を対象とする場合はフォーカスグループ(座談会)となる。面接者／進行役が、特定の情報を集める目的で、あらかじめ決められた質問を投げかける。	プロジェクトの影響や受益者の体験をさらに掘り下げて調べるのに有効。質的データを入手できる。提唱者のニーズに合わせて測定できる。
補助金の記録と報告書	ロータリアン、RI、ロータリー財団、そのほかの人々の参照用に、プロジェクトの参加、活動、影響についてプロジェクト提唱者が保管する書類	ロータリー財団により保管が義務付けられた基本情報(結果や数値など)を記録できる。
公文書	政府、民間組織、その他の団体が保有し、一般に公開されている書類	基本情報を確認するのに適している。外部組織が収集したデータは、プロジェクト提唱者のデータを補完するのに役立つ。
アンケート調査	受益者の反応、印象、意見、満足度などを調べるための具体的な質問事項	受益者から量的データと質的データの両方を集められる。また、提唱者のニーズに合わせて測定ができる。
衛星画像	人工衛星または全地球測位装置(GPS)から得られるデジタルデータ	複数の場所で実施された活動を記録するのに役立つ(井戸、診療所、学校の場所を示すなど)。
検査	具体的な結果を調べるために行う手続き	特定の活動の成果を調べられる。量的データが得られる。

モニタリング計画のテンプレート

評価基準	定義	目標	測定方法	測定予定
ロータリー財団が設定した評価基準の中から適切なものを選び、記入する。	財団が定めた評価基準について本資料に記載されている定義をここに記入する。	補助金期間全体の目標を示す具体的な数値を定める(重複計算に注意)。	評価基準データの収集方法を説明する。本資料で提示されている測定方法を参考にする。	データ収集の具体的な予定を記入する。
独自に設けた評価基準を記入する。	独自の評価基準を明確に定義する。財団が定めた評価基準の定義を参考にする。	補助金期間全体の目標を示す具体的な数値を定める(重複計算に注意)。	評価基準データの収集方法を説明する。本資料で提示されている測定方法を参考にする。	データ収集の具体的な予定を記入する。

モニタリング計画の例

プロジェクトの簡単な説明: 若者の雇用を支援するため、職能研修を実施し、研修を受けた若者の収入増加を支援する。

評価基準	定義	目標	測定方法	測定予定
直接受益者の数	ロータリー財団の評価基準	180人 (活動に新たに参加した若者 60人 × 3年間)	参加者についての情報を記録する。参加者は6カ月間の研修を受けた後、継続的な個人指導を受ける。	毎月、研修参加者の情報を集める。四半期ごとに、個人指導の報告書を集め
研修を受けた若者の数	ロータリー財団の評価基準	180人 (活動に新たに参加した若者 60人 × 3年間)	すべての研修において、出席記録を付ける。	毎回の研修で出席記録を付ける。
雇用された若者の数	ロータリー財団の評価基準	60人 (正社員として雇用された若者 20人 + 起業家として仕事を始めた若者 40人)	参加者全員にアンケート調査を行い、就職状況を調べる。複数回の調査で、正社員または起業家として働いていると答えた若者のみを数える。	6カ月ごとにすべての参加者を対象にアンケート調査を行う。
研修プログラム修了証を受けた若者の数	プロジェクトごとの基準	144人 (研修合計時間 = 240時間) 各研修科目において、80パーセントの参加者が190時間以上の研修に出席し、合格点を取る。	すべての研修において、出席の記録を取る。研修前にテストを行い、その結果に応じて研修内容を決定する。研修後にもテストを実施し、採点が行われる。また研修の質を測るため、満足度のアンケート調査も実施する。	毎年行われる6カ月の研修期間を通じて随時出席の記録を取る。毎月の研修の初めと終わりにテストを実施する。四半期ごとに満足度を測るアンケート調査を行う。
個人指導を受けた若者の数	プロジェクトごとの基準	90人 (最低24時間以上の個人指導が条件)	個人指導者と青少年の双方から報告書を集める。この報告書には、指導時間数、内容、参加者の満足度などが含まれる。	個人指導報告書を四半期ごとに回収

ロータリー財団の評価基準：用語の説明

成人 (adult) : 18 歳以上の個人。

成人教育 (adult education) : 成人を対象に、読み書きや地元の言語など基本的スキルを教えること。

基本教育 (basic education) : 18 歳以下を対象に、読み書きや地元の言語など基本的スキルを教えること。

質の向上 (better quality) : 価格、効率、効果、種類などの面で改善が見られること。

事業 (business) : 収入を得るための活動、中小企業、共同組合、社会事業。

病気の発症数 (case of disease) : 特定の病気の発症件数。累算できる (特定の期間に新たに発症した件数)。

子供の死亡率 (child mortality rate) : 出生児 1,000 人のうち、5 歳未満で死亡する子供の割合。

コミュニティ (community) : 個々の村、地理的地域、医療機関などを指す。

紛争 (conflict) : コミュニティや地域に広く弊害を及ぼしている (または及ぼす可能性のある) 争い。

データ (data) : 事実、統計、各種情報など。量的データ (数値) は、プロジェクト活動の有効性を表し、質的データ (記述) は、話、証言、意見などから引き出される。プロジェクトの実施前に基本データを集めることで、プロジェクトを通じた介入前の状況を明確に把握できる。定期データは、通常、ロータリー以外の組織が継続的に収集している情報。非定期データは、定期データよりも収集の頻度が低く、主に、ロータリアンがプロジェクトをモニタリングし、評価する目的で集める情報。

データ収集 (data collection) : プロジェクト活動に直接関連する情報源から、データを特定して集めること。

直接受益者 (direct beneficiary) : プロジェクト活動から明確かつ直接的な恩恵を受けた人。

疾病予防措置 (disease prevention intervention) : 特定の疾病を予防または治療するための活動。

重複計算 (double counting) : プロジェクトの受益者を記録する際に、ある個人またはグループを 2 回以上数えてしまうこと。受益者を見分ける情報 (氏名、生年月日、性別など) を記録しておき、後で複数の団体からの記録に重複する情報がないかどうかを確認する。

雇用 (employment) : 正社員としての採用、起業、収入を得るためのその他の仕事。

起業家 (entrepreneur) : 中小企業経営者または収入を得るためのその他の仕事に従事している人。

グループ/団体 (group/organization) : 特定の目的のために、公式または非公式に集合した個人の集まり。

医療サービス (health care services) : 疾病予防 (教育、検査など)、および病気を緩和または治すための治療 (抗レトロウイルス薬の投与など)。

保健教育キャンペーン (health education campaign) : 疾病予防と治療に関する認識を高めるため、事実に基づき信頼のおける情報を広める活動。説明会や研修カリキュラムのほか、地域社会の人々を教育するためポスター、看板、ラジオ、その他のメディアを利用した活動も含まれる。

医療機関 (health facility) : 医療サービスが提供されている所。病院、診療所、研究所など。

保健に焦点を当てた行事 (health-focused event) : 疾病予防と治療について認識を高めるため、参加者に情報やサービスを提供する行事 (保健フェア、研修、病気の検査など)。

家庭用浄水処理 (household water treatment) : 各家庭に設置され、下痢疾患の発生を減らすために効果がある浄水方法 (沸騰、塩素処理、フィルター使用、太陽光線による殺菌など)。

成果/影響 (impact) : プロジェクトや活動が人や地域社会にもたらした直接的な変化。

改善された衛生施設 (improved sanitation) : 下水道または汚水処理タンクにつながっている、水洗式または汲み水を流すタイプのトイレ。床板の汲み取り式トイレ、換気整備のある汲み取り式トイレ、コンポストトイレ (堆肥製造用トイレ)。「改善されていない衛生施設」には、下水道につながっていない水洗式または汲み水を流すタイプのトイレ、床板のない汲み取り式トイレ、バケツ式トイレ、ハンギング・ラトリン (高床式簡易トイレ)、設備なし、野外排泄などが含まれる。

改善された飲料水源 (improved sources of drinking water) : 住居内で得られる水道水、庭や敷地内で得られる水道水、公共の水道または配水塔、掘り抜き井戸または掘削孔、保護された掘り井戸、保護された湧水、雨水など。「改善されていない飲料水源」は、保護されていない掘り井戸、保護されていない湧水、給水車の水、小型ドラム缶を積んだ車、地表水、ペットボトルの水 (料理や、身の回りの衛生にはほかの改善された飲料水源を使っている場合、ボトルの水も改善された飲料水源とみなされる)。¹

機関 (institution) : プロジェクトの活動実施に直接関与している組織。

使用されている (in use) : 現在も正常に機能しており、定期的かつ適切に使用され、受益社会によって継続的に管理されている状態。

創出された仕事 (job created) : プロジェクト前には存在しておらず、プロジェクトの直接的な成果によって生まれた仕事。

識字研修 (literacy training) : 18 歳以上の生徒に、読み書きのスキルを中心に教える教育。または成人学習者を教育するために必要なスキルを教員に教える研修。

地元のリーダー (local leader) : 公式または非公式な役割を担い、地域社会で地位のある人。

妊産婦の死亡 (maternal death) : 妊娠中または出産後 42 日以内にその女性が死亡すること。

妊産婦の死亡率 (maternal mortality rate) : 出生児 1,000 人当たりの妊産婦の死亡数割合。

調停 (mediation) : 第三者が公平な立場から、争いの解決や取引の計画を助けること。

医療・保健従事者 (medical and health professional) : 医者、看護師、助産師、医学学生、技師、地域社会の保健要員、保健教育者など。

モニタリング (監視) (monitoring) : プロジェクト実施前に同意した事柄に従って、特定のデータを定期的に集めること。

新しい (new) : 以前は存在せず、プロジェクトの直接的な結果により生じたこと。

成果 (outcome) : プロジェクトの結果、受益者の知識、行動、状況が好ましく変化すること。プロジェクト実施前に目標とする状態を定める。

活動量 (output) : 期待される成果を出すためにプロジェクト実施中に行われる活動。

平和構築 (peace-building) : 紛争を防いだり、解決するための活動。

技術の利用 (point-of-use technology) : 下痢疾患の発生を減らすために効果がある家庭用浄水処理 (沸騰させる、塩素処理、フィルター使用、太陽光線による殺菌など)。

¹ WHO/UNICEF Joint Monitoring Programme for Water Supply and Sanitation (世界保健機関とユニセフによる水と衛生に関する共同モニタリング・プログラム)

妊娠中のケア (prenatal care) : 妊娠中に少なくとも 4 回、研修を受けた医療従事者を訪れ健診を受けること。健診では以下が行われる。²

- 妊娠の経過観察、母子の健康状態の確認
- 妊娠に影響する問題の発見
- 出産計画、準備や危険な状態の兆候についてのアドバイス

予防医療 (preventive medical treatment) : 予防接種、微量栄養素補助食品、下痢の患者のための経口補水療法、肺炎やその他の呼吸器感染の患者のための抗生物質治療、抗マalaria薬治療(クロロキン、アルテシニンなど)、抗レトロウイルス療法を含む。

受領者 (recipient) : プロジェクト活動の一環で奉仕を受けた人。

就学年齢の子供 (school-age student) : 小学校、中高等学校に通う 18 歳以下の生徒。

教員職 (teaching position) : 学校または地域の正式な教育機関における役職。

検査 (testing) : 特定の結果を調べるために行う活動。水質調査、情報の定着率、治療の成果などが含まれる。

研修 (training) : 特定のトピックについて、またはカリキュラムに基づいた指導。複数回実施できる。

社会的弱者 (vulnerable population) : 人口学的特性(年齢、性別、人種/民族など)、経済的地位、疾病、障害、居住地などの要因により、弱い立場にあると考えられている人々・集団。

水施設 (water facility) : 家庭または地域において、1 人または複数の人に水を提供するシステム。

青少年 (youth) : 12~25 歳までの個人。

²母子の健康を改善するための世界保健機関(WHO)の提案事項より